資料３

船橋市障害者施策に関する意識調査報告書（抜粋）　【単位：％】

※①～⑭は複数回答

H30とH25の比較で10%以上の増加あり
H30とH25の比較で10%以上の減少あり
H30の回答割合が40%以上

		①普段の生活で困っていること	H30	H25	差異	②支援者亡き後の生活への不安	H30	H25	差異	③主な支援者	H30（無回答者除く）	H25	差異	④支援を受ける上で困っていること	H30	H25	差異	⑤医療を受けるときや健康管理で困ること	H30	H25	差異	⑥情報収集や相談時に困ること	H30	H25	差異	⑦「社会全体のバリアフリー化」を進めるために重要だと思うことは？	H30	H25	差異	⑧障害のある人への理解を深めるために障害者自身がどのようなことに取り組んでいくことが必要だと思いますか	H30	H25	差異
身体	１位	病気や怪我のこと	25.6	36.4	-10.8	身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか	42.0	-		夫または妻	49.3	44.4	4.9	特にない	28.2	23.9	4.3	気軽に往診を頼める医師がいない	12.2	10.5	1.7	特に困っていない	53.0	54.8	-1.8	障害や病気への正しい理解と啓発活動	31.5	33.6	-2.1	障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める	32.4	-	
	２位	買い物	19.0	30.1	-11.1	財産管理や契約などの手続きを自分でできるか	22.4	-		子	22.8	20.4	2.4	支援してもらうことに気を使う	24.4	32.9	-8.5	医療費の負担が大きい	10.4	10.8	-0.4	どこに問い合わせたらいいかわからない	11.6	15.5	-3.9	ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実	21.2	19.8	1.4	まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく	28.8	-	
	３位	部屋の掃除	13.6	24.1	-10.5	十分な収入が得られるか	16.7	-		父母	9.6	8.4	1.2	経済的な負担が大きい	18.6	19.8	-1.2	専門的な治療を行う医療機関が身近にない	8.4	8.1	0.3	身近な場に相談するところがない	8.7	9.1	-0.4	様々な障害者にも利用しやすいように開発された商品やサービス	20.8	20.1	0.7	職場においても自分の能力や個性を生かして仕事をしていく	19.6	-	
知的	１位	病気や怪我のこと	23.9	26.3	-2.4	身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか	69.0	-		父母	87.2	84.3	2.9	言いたいことがうまく伝わらない	50.3	47.5	2.8	障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	21.3	23.9	-2.6	特に困っていない	43.1	35.9	7.2	障害や病気への正しい理解と啓発活動	48.7	52.6	-3.9	職場においても自分の能力や個性を生かして仕事をしていく	41.6	-	
	２位	友人・知人との付き合い	22.3	34.7	-12.4	財産管理や契約などの手続きを自分でできるか	49.7	-		兄弟姉妹	5.1	1.3	3.8	支援者の代わりになる人がいない	25.9	28.0	-2.1	専門的な治療を行う医療機関が身近にない	8.1	10.8	-2.7	どこに問い合わせたらいいかわからない	20.3	26.3	-6.0	学校や地域社会での福祉教育の充実	37.1	42.2	-5.1	障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める	28.9	-	
	３位	家計や暮らしの経済的なこと	18.3	25.1	-6.8	働く場所や適当な仕事を見つけられるか、続けられるか	40.1	-		夫または妻	3.1	1.3	1.8	特にない	16.2	23.0	-6.8	医療費の負担が大きい	7.6	6.8	0.8	身近な場に相談するところがない	15.7	12.7	3.0	ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実	29.9	36.7	-6.8	まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく	27.4	-	
精神	１位	家計や暮らしの経済的なこと	32.4	28.6	3.8	十分な収入が得られるか	49.0	-		父母	47.8	15.4	32.4	特にない	29.7	37.1	-7.4	医療費の負担が大きい	20.7	14.3	6.4	特に困っていない	51.0	60.2	-9.2	障害や病気への正しい理解と啓発活動	44.1	-		障害者差別解消法等、障害のある人の人権に関する法律や制度への理解を深める	40.0	-	
	２位	病気や怪我のこと	27.6	52.0	-24.4	身の回りの支援や援護をしてくれる人がいるか	40.7	-		夫または妻	17.0	0	17.0	支援してもらうことに気を使う	24.1	34.3	-10.2	障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療が受けられない	8.3	5.1	3.2	どこに問い合わせたらいいかわからない	20.7	20.4	0.3	学校や地域社会での福祉教育の充実	26.2	-		職場においても自分の能力や個性を生かして仕事をしていく	35.2	-	
	３位	友人・知人との付き合い	24.1	37.8	-13.7	働く場所や適当な仕事を見つけられるか、続けられるか	38.6	-		兄弟姉妹	9.1	3.8	5.3	経済的な負担が大きい	23.4	11.4	12.0	定期的に健康診断を受けられない	6.9	2.0	4.9	身近な場に相談するところがない	14.5	9.2	5.3	ガイドヘルパーやボランティアによる外出支援の充実	23.4	-		まちづくりや地域づくり等に障害のある人の視点を反映できるようにしていく	29.0	-	

		⑨今の住まいで困っていること	H30	H25	差異	⑩仕事で困っていること	H30	H25	差異	⑪外出しない理由	H30	H25	差異	⑫緊急な病状になった時に不安なこと	H30	H25	差異	⑬緊急避難する際に不安なこと	H30	H25	差異	⑭今後必要だと思う障害福祉施策	H30	H25	差異	⑮障害のある人に対する市民の理解がどの程度あるか
身体	１位	特にない	42.5	47.1	-4.6	特にない	35.5	39.1	-3.6	障害が重い	33.2	35.1	-1.9	自分だけでは動けない	41.6	41.4	0.2	トイレや入浴設備	37.6	40.8	-3.2	医療費の軽減	36.6	41.7	-5.1	よく理解されている（２.８％） おおむね理解されている（２１.２％） →計２４％ 全く理解されていない（２.８％） あまり理解されていない（２６％） →計２８.８％
	２位	建物の老朽化	23.1	21.5	1.6	収入が少ない	22.2	26.1	-3.9	道路や階段が不便・危険	29.3	29.3	0.0	トイレや入浴設備	23.7	18.3	5.4	水や食事の確保	37.4	44.3	-6.9	所得保障の充実	23.4	23.6	-0.2	
	３位	家の中に段差があって危ない	9.8	9.5	0.3	通勤が大変	19.4	15.4	4.0	乗り物の利用が困難	22.8	27.3	-4.5	経済的な負担が増える	16.7	17.8	-1.1	避難先での薬や医療体制	35.4	35.6	-0.2	社会福祉施設の充実	17.4	21.3	-3.9	
知的	１位	特にない	61.4	57.4	4.0	特にない	32.2	38.3	-6.1	外出するのが面倒	36.4	30.8	5.6	自分だけでは動けない	54.3	59.4	-5.1	自分だけでは動けない	55.3	60.2	-4.9	働く場の確保	33.5	31.9	1.6	よく理解されている（１.５％） おおむね理解されている（１３.７％） →計１５.２％ **全く理解されていない（８.１％）** **あまり理解されていない（４０.１％）** **→計４８.２％**
	２位	建物の老朽化	14.7	13.9	0.8	収入が少ない	25.3	31.9	-6.6	障害が重い	27.3	38.5	-11.2	状況を周囲の人に伝えるのが困難	51.8	52.6	-0.8	水や食事の確保	42.1	45.8	-3.7	社会福祉施設の充実	24.9	25.1	-0.2	
	３位	家賃が高い	4.1	2.8	1.3	職場の人間関係	17.2	22.3	-5.1	道路や階段が不便・危険	18.2	19.2	-1.0	電話などの連絡手段が使えない	33.5	45.0	-11.5	家族との連絡方法	38.6	45.0	-6.4	医療費の軽減	23.4	17.5	5.9	
精神	１位	特にない	49.0	57.1	-8.1	収入が少ない	41.2	57.9	-16.7	他人に見られるのが嫌	80.0	33.3	46.7	経済的な負担が増える	35.9	22.4	13.5	水や食事の確保	47.6	57.1	-9.5	医療費の軽減	45.5	22.4	23.1	よく理解されている（３.４％） おおむね理解されている（１７.２％） →計２０.６％ **全く理解されていない（８.３％）** **あまり理解されていない（３８.６％）** **→計４６.９％**
	２位	建物の老朽化	27.6	14.3	13.3	職場の人間関係	35.3	26.3	9.0	乗り物の利用が困難	60.0	0	60.0	自分だけでは動けない	29.7	31.6	-1.9	避難先での薬や医療体制	46.2	36.7	9.5	所得保障の充実	44.1	39.8	4.3	
	３位	部屋探しが大変だった	8.3	9.2	-0.9	通勤が大変	17.6	10.5	7.1	お金がかかる、外出が面倒	40.0	50.0	-10.0	状況を周囲の人に伝えるのが困難	19.3	17.3	2.0	寝る場所の確保	45.5	44.9	0.6	働く場の確保	36.6	25.5	11.1	

※「⑪外出しない理由」の精神の各年の回答者は5名（H30）、6名（H25）

<H30の特徴>

- ⑤⑭において、いずれの障害種別においても「医療費」に関する回答が大きな割合を占めている。
- ⑮において、「身体」より「知的・精神」のほうが「全く理解されていない・あまり理解されていない」の占める割合が大きくなっている。
- ⑦においては、いずれの障害種別においても「障害や病気への正しい理解と啓発活動」が一番大きな割合を占めている。
- ④⑥⑨⑩においては、困っていることは特にないといった回答の占める割合が大きい。
- 身体については、自由筆記で道路、歩道などの生活環境に関する記述が非常に多くなっている。
- 知的については、自由筆記でグループホームについての記載が多い。
- 精神については、所得に関する回答の割合が身体・知的よりも大きくなっている。

<H30とH25の比較>

（10%以上の増減があった質問項目）

- ①において、いずれの障害種別においても１０%以上減少している項目がある。
- ③において、「精神」は「父母」「夫または妻」の割合がそれぞれ１０%以上増加している。
- ⑨において、「精神」は「建物の老朽化」の占める割合が１０%以上増加している。
- ⑪において、「知的」は「障害が重い」の占める割合が１０%以上が減少、「精神」はいずれの回答においても１０%以上の増減がある。
- ④⑩⑫⑭において、「精神」の「経済的な負担」に関して１０%以上の増減がある。